

交換留学（派遣）帰国報告書

.....
留学先大学： グラーツ大学
留学先での所属学部・研究科： Germanistik
留学先での在籍身分： 学部生
留学期間： 2015 年 10 月～ 2016 年 7 月
神戸大学での所属学部・研究科： 文学部 人文学科
学年（出発時）： 3
本報告書記入日： 2016 年 8 月 1 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 10 月 1 日

学年終了月日： 6 月 30 日

学期：

① 10 月 1 日～ 1 月 31 日

② 3 月 1 日～ 6 月 30 日

③ ___ 月 ___ 日～ ___ 月 ___ 日

④ ___ 月 ___ 日～ ___ 月 ___ 日

1-2. 留学先大学の特長，人気のある分野等

主に文系分野の大学。医学部は同じ敷地内にあるが、理工系はグラーツ工科大学が別に存在する。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

ドイツ語のコースの開講。

勉学面でのサポート：

学期初めの学部別オリエンテーション。

精神面でのサポート：

特に思い当たらないが、留学生担当オフィスがあり、職員の方は親切だった。

住居・生活面でのサポート：

大学が手配してくれる。

課外活動のサポート：

特になし。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

私はWISTという寮に入っていましたが、特に問題もなく快適でした。留学生は退去日が決まっており延長はできないので、注意が必要です。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

OSSMA（損保ジャパン）

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

GKK（ビザ取得のため加入が義務付けられている健康保険）

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：■接続できた □接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

料金は家賃に含まれる。有線LANだったが、2016年冬学期より無線LANになる予定らしい。

大学でのPCの使用の可否：■使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

図書館。日本語は表示されるが、(方法がわからず)入力はできなかった。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

いいえ。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

わかりません。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

キャッシュパスポートを持って行った。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

鼻をすするのは行儀の悪いことだとされているようです。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

友人たちの家族と接する機会は多々あった。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

いいえ。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

治安は非常によく、留学生も多い学生街なので外国人慣れはしていると感じた。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

いいえ。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO _____, 8万 _____ 円/月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

オーストリアの日本大使館のホームページ。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

歯ブラシ(現地のものは日本のものより1.5~2倍は大きい)、洗濯ネット(現地にはほぼない)

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：（ドイツ語検定）2級 点→帰国後（ÖSD）B2 点

外国語を話すことへの抵抗がなくなった。外国人とコミュニケーションをとることに慣れた。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

学生証の再発行。私は2014年の9月にグラーツ大学のサマースクールに参加したのですが、その際に発行された学生証を今回持参するのを忘れたため、再発行しなければなりませんでした。特に大きなトラブルではありませんでしたが、お金もかかりますし、必要書類を整える（警察に行かなければならない）のも面倒でした。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦めます。申請から奨学金まで、大学が大体指針を示してくれるので、神戸大学に在籍している人にとっては最も留学しやすいプログラムだと思います。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 4
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 4

留学先大学： グラーツ大学
 留学先での所属学部・研究科： Germanistik
 留学先での在籍身分： 学部生
 留学期間： 2015 年 10 月～ 2016 年 7 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 文学部 人文学科
 学年（出発時）： 3
 本報告書記入日： 2016 年 8 月 1 日

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Deutsch Mittelstufe 1, Niveau B1/1. Phase, Intensivkurs	H. Turba	5	3	20	プレゼン、期末テスト
2	Deutsch Mittelstufe 1, Niveau B1/2. Phase	H. Turba	1	3	20	期末テスト
3	Deutsch, Sprachkompetenz 1, Niveau ab B1	G. Fasshold	1	3	20	プレゼン、中間テスト、期末テスト
4	Einführung in die neuere deutsche Literaturwissenschaft	R. Vellusig	1	3	455	期末テスト(筆記)
5	Literaturwissenschaftliche Textanalyse	H. Kernmayer	1	3	222	期末テスト
6	Wege zur Literaturgeschichte	K. Kranich	1	3	219	オムニバス、期末テスト
7	Literarische Traditionen III (1848-1945)	B. Müller-Kampel	1	3	363	期末テスト
8	Deutsch, Lese- und Schreibkompetenz, ab Niveau B2	A. Osterer	1	3	20	中間、期末テスト
9	Deutsch, Sprachkompetenz 2, Niveau ab B2	B. Simschitz	1	3	20	プレゼン、中間、期末テスト
10	Deutsch Mittelstufe 4, Niveau B2/2. Phase	E. Seidl	1	3	20	中間、期末テスト

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

講義は出席はとらず、テストによって成績評価される。大抵、授業前後にMoodleにスライドやレジュメがアップされる。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 18万円
 - ・住居費：（月額） 4万円 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 40万円
 - ・食費：（月額） 2万5千円 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 25万円
 - ・保険料： 7万円
 - ・その他： 40万円
- 合計： 130万円 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字～）

グラーツという街、そしてそこに住む人々の良さを満喫する1年になりました。グラーツは、旅行先としてはほとんど候補に挙がらない街ですし、私自身日本人旅行者を見かけることもほとんどありませんでしたが、住むにはこれ以上快適な場所はないと思える街です。街の規模は決して大きくはありませんが、必要なものは何でもそろいますし、不便に思うところもほとんどありません。日本の都会のようにものが溢れているところからグラーツにくると、生活そのものが軽くなったような気がします。グラーツの好きなのはたくさんありますが、特に時間の流れ方が私は好きです。街全体にどことなくのんびり、ほんわかとした雰囲気が溢れていて、太陽を浴びたり雲を眺めながら友人たちとコーヒーを飲むのが一番の幸せでした。日本では贅沢すぎる時間の楽しみ方が、グラーツではごく当たり前のことです。そのような空気の中かで1年暮らせたことは、私にとってとても幸せなことで、良い影響になったと感じています。

また、人間関係にも非常に恵まれました。幸運なことに多くのオーストリア人と仲良くなれたので、その地での生活により入り込めたように思います。留学中は悩んだり苦労したりすることももちろん多々ありましたが、彼らのおかげで乗り越えることができました。グラーツ大学では日本学部こそありませんが、日本語の授業は希望者が多すぎて履修できない人もいるほど人気です。日本に興味のある学生は多いため、知り合いをつくるのは割と簡単ですし、日本人留学生が少ないので、日本人同士なれ合い過ぎる恐れもありません。また、タンデムという1対1での語学練習のシステムが浸透しており、大学にも登録すればタンデムパートナーを見つけられるサービスがあるので、それをうまく利用すればさらに多くの人と関わることができます。友人は多ければ多いほど良いというわけでもありませんが、それでも新しい人と一から関係を築いていく楽しさは、留学中にこそより深く実感できるものかもしれません。また、友人とその家族と出かけたりご飯を食べたりすることも多々あり、素敵な経験になりました。たくさん素敵な思い出があるのは、やはりグラーツという土地に根差した生活ができたからだと思います。また、グラーツにはそれを可能にしてくれる土壌が整っていると感じます。素敵な経験をたくさんくれたグラーツに、そしてそのグラーツに留学する機会を与えてくださった皆様に、心より感謝します。